






1	アカシア		 
	学名	Acacia	
	科名	マメ科	
	属名	アカシア属	
	原産地	オーストラリア南東部	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	-5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑性低木	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>ギンヨウアカシア、フサアカシアなどがあり、別名ミモザとも呼ばれる。ギンヨウアカシアは、4～10mまで育ち、開花期にはポンポンのような房状の黄色い小花を大量に咲かせる。葉は銀灰色で、鳥の羽のような形。フサアカシアは、20～30mまで育ち、ギンヨウアカシアより葉、花ともに大きい。花はハチミツのような甘い香りがする。</p>			


2	アガベ		
	学名	Agave	
	科名	キジカクシ科	
	属名	リュウゼツラン属	
	原産地	中央アメリカ、西インド諸島	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	耐寒性あり	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑性多年草	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>樹高5～200cm、乾燥地に生育しているため、葉は放射状につき(ロゼット)、多肉質で、多くは葉縁に鋭いとげがある。多くは何年もかけて花をつける準備をし、ロゼットの中央から茎を伸ばして花を咲かせるが、開花すると株は枯れる。「アガベ・アスール・テキラーナ(英名ブルーアガベ)」の茎の部分は、テキーラの原料。</p>			

3	アクティノータス(フランネルフラ)		
	学名	Actinotus helianthi	
	科名	セリ科	
	属名	アクティノータス属	
	原産地	オーストラリア	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	四季咲き性多年草	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>花卉の先に緑がのった白い花を咲かせ、総苞片には細かい毛が密生しているため、フェルトのように柔らかな手触り。花色は、白、クリーム色。葉は深い切れ込みを持つ羽状で、花同様に細かい毛でおおわれているため、白味を帯びている。草丈は30cmほど。高温多湿を嫌う。</p>			

4	アゲラタム		
	学名	Ageratum	
	科名	キク科	
	属名	アゲラタム属(カッコウアザミ属)	
	原産地	熱帯アメリカ～西インド諸島	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	10℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	耐寒性多年草(一年草扱い)	
		呼称パターン	
	①属名		
	特徴等		
<p>草丈 15～80cm、ポンポンのようなかわいい花を房状に咲かせ、葉が密につき株もこんもりまとまる。花色は青、白、紫、白、ピンク。アゲラタムという名前は、ギリシア語で否定を表す「ア」と「ゲラス(=年をとる)」の2語から来ており、「老いを知らない」、「古びない」という意味になり、花色が長期間色あせないところに由来する。</p>			
5	アザレア		
	学名	Rhododendron	
	科名	ツツジ科	
	属名	ツツジ属	
	原産地	ヨーロッパ、ベルギー	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑性低木	
		呼称パターン	
	⑧愛称		
	特徴等		
<p>樹高20cm～2mになる低木で、30～40cmで管理する。花は八重咲きで大きく、白、ピンク、赤、紫、オレンジや複色等、色の種類も豊富。葉は楕円形でツツジに似ているが、ツツジと比べて小さい。ラテン語で乾燥の意味の「azaleos(アザロス)」乾燥地域を好む性質が由来。過湿だと根腐れする</p>			
6	アジアンタム		
	学名	Adiantum raddianum	
	科名	イノモトソウ科	
	属名	アジアンタム属(ホウライシダ属)	
	原産地	中・南アメリカ、東南アジア他原産地	
	日照	日陰を好む。室内でもOK	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	たっぷり	
	性状	常緑多年草	
		呼称パターン	
	①属名		
	特徴等		
<p>草丈5～100cm、株元から羽状の小葉のついた黒褐色の葉柄を立ち上げる。緑色の小さな葉が密集して生え、水をはじくことから、ギリシア語で濡れないことを意味する「adiantos(アディアントス)」が名前の語源となっている。シダ植物のため、花や実をつけない。</p>			

7	アスター		
	学名	Callistephus chinensis Nees	
	科名	キク科	
	属名	エゾキク属	
	原産地	中国北部	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	0℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	一年草	
	呼称パターン		
	⑤英名		
	特徴等		
草丈50～1m程度、花茎は5cm程度だが、大輪になると8cmになる品種もある。色は、非常に多彩で、白、黄、桃、赤、緋赤色、青、紫などの他、複色花もある。一重、半八重、八重、平弁、管状弁、針状弁など品種も豊富である。高温多湿、に弱い、強い霜にも弱い。別名エゾギク。			

8	アツザクラ		
	学名	Rhodohypoxis baurii	
	科名	キンバイザサ科	
	属名	ロードヒポキシス属	
	原産地	南アフリカ	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	0℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	多年草(非耐寒性春植え球根)	
	呼称パターン		
	⑥和名		
	特徴等		
草丈15cmと低く、春から初夏にかけて、濃赤や赤、ピンク、白の花を咲かせる。花弁は6弁で雌しべや雄しべの目立たない特徴的な花の形をしている。寒さに当てると開花する。別名「ロードヒポキシス」。高温多湿が苦手なため、梅雨時は風通しの良いところにおく。秋になると葉が枯れて休眠状態に入る			

9	アデニウム		
	学名	Adenium	
	科名	キョウチクトウ科	
	属名	アデニウム属	
	原産地	リカ、南アフリカ、ソコトラ島、アラビア半島	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	落葉性多肉植物/多年草	
	呼称パターン		
	①属名		
	特徴等		
草丈20～80cm、デザートローズ、もとい和名を砂漠のバラという植物は、東アフリカからナミビア、そして紅海を越したアラビア半島の砂漠地帯を中心に、多く自生している。乾燥に非常に強く、太く肥大した塊根に水分を溜め込んでいる。花は、白、ピンク、赤、黄、紫色があり、砂漠のバラと呼ばれるほど美しい花をつける。ケニア、タンザニア原産の「アデニウム・オベスム」が代表的。			

10	アルストロメリア		
	学名	Alstroemeria	
	科名	ユリズイセン科	
	属名	アルストロメリア属(ユリズイセン属)	
	原産地	南アメリカ	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	0℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	秋植え球根	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>草丈0.1～2m、花卉の一部に縞模様(条斑、条紋)が入り、これが大きな特徴。6枚の花弁のうち、外側の3枚は丸みがあって大きく、単色または複色、内側の3枚のうち上の2枚は特にこの縞模様がはっきりしている。ただし、縞模様がないものもあり、これをスポットレスと呼ぶ。葉はつけ根のところで180度ねじれ、裏面が上になる。多くのものはチリタイプとブラジルタイプに大別され、種によって高地から低地、乾燥地から湿地と、</p>			
11	アルテルナンセラ		
	学名	Alternanthera	
	科名	ヒユ科	
	属名	アルテルナンセラ属(ツルノゲイトウ)	
	原産地	熱帯～亜熱帯アメリカ	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	10℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑性亜低木(一年草扱い)	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>草丈10～20cm、葉色が赤、桃、黄、橙、紫などカラフルで美しく、主にカラープランツとして花壇の縁取りやコンテナの寄せ植えに利用される。大きさや形状もさまざまでほふく性のものからこんもりと茂るもの、木立ち性になるものなどがある。ポリゲンス種(千日小坊)は花を觀賞する。</p>			
12	アレカヤシ		
	学名	Dyopsis lutescens	
	科名	ヤシ科	
	属名	クリサリドカルパス属	
	原産地	マダガスカル	
	日照	半日陰を好む。	
	耐寒性	10℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑中高木	
	呼称パターン		
⑥和名			
特徴等			
<p>樹高1.5m程度、放物線状に広がる黄緑色の葉と、黒い斑点を持つこと茎が特徴。クリーム色の小さい花が集まって咲き、幹の途中に黄色く小さい実をたくさん実らせる。成長に限りがないため、原産地では10～20mまで成長するものもある。</p>			

13	アロエ		
	学名	Aloe	
	科名	ススキノキ科	
	属名	アロエ属	
	原産地	半島、ソコトラ島、マダガスカル	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	少なめ	
	性状	常緑性、多肉植物(観葉)	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>草丈2cm~2m、ロゼッタ状でトゲのある肉厚な葉が特徴で、葉の中のゼリー状の組織に水分を蓄える。薬用になり、冬頃赤い花を咲かせるキダチアロエ、食用とされるアロエ・ベラが代表として挙げられる。乾燥に強く多湿に弱いため、水を与えすぎると根腐れする。冬は1、2カ月に1回でよい。</p>			
14	アングロニア		
	学名	Angelonia	
	科名	ゴマノハグサ(オオバコ)科	
	属名	アングロニア属	
	原産地	アメリカから南アメリカの熱帯から亜	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	緑多年草(春まき一年草扱)	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>草丈30~100cm、葉は濃緑でやや細長く、株は根元から枝分かれている。特徴的な形の小花を穂状に咲かせる。花色は白、ピンク、紫、青、複色。耐寒性の強いアングステイフォリア系と、耐寒性が弱いサリカリフォリア系があるが、ほとんど区別はされていない。</p>			
15	アンズリウム		
	学名	Anthurium	
	科名	サトイモ科	
	属名	アンズリウム属(ベニウチク属)	
	原産地	熱帯アメリカ~西インド諸島	
	日照	半日陰を好む。	
	耐寒性	10℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑多年草	
	呼称パターン		
⑧愛称			
特徴等			
<p>草丈25cm~60cm、温度を保てば年中花をつけ、美しく着色するのは仏炎苞と呼ばれる部分で花は紐状の部分に多数つき、小さくて目立たない。苞の色は赤の他に白、ピンクがある。主な原種はアンドレアナム、葉が美しいものはマグニフィカムという。日陰でも育つが、花付きが悪くなる。</p>			

16	イトマ		
	学名	Isotoma	
	科名	キキョウ科	
	属名	ラウレンティア属(イトマ属)	
	原産地	岸、アフリカ、オーストラリア	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑多年草(一年草扱い)	
		呼称パターン	
	①属名		
	特徴等		
<p>草丈20～40cm、葉にはギザギザの切れ込みが入り、株はこんもりしやや横に広がる。白、ピンク、紫、青色の小さな星形の花を株いっぱい咲かせる。茎を切ると白い液が出て、皮膚につくとかぶれることがあるので注意が必要。</p>			
17	イチゴ		
	学名	Lactuca sativa Fragaria	
	科名	バラ科	
	属名	オランダイチゴ属	
	原産地	北アメリカ、チリ	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	多年草、小低木	
		呼称パターン	
	⑥和名		
	特徴等		
<p>草丈20～30cm、直径3cmほどの白や桃や赤色の5枚の花びらを持つ花を咲かせる。食用とされている部分は、花托であり、果実ではなく、果実は種子に見える一粒一粒である。親株からランナーを伸ばし、子株、孫株と株を増やし、越冬して実をつける。夏の暑さには弱い、雪の下でも越冬するほど寒さに強い。</p>			
18	イチジク		
	学名	Ficus carica	
	科名	クワ科	
	属名	フィクス属(イチジク属)	
	原産地	小アジアまたはアラビア南部	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	-5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	落葉性高木	
		呼称パターン	
	⑥和名		
	特徴等		
<p>樹高2～5m、手のひらのような葉をもつ。花は、「無花果」と書くとおおり、実の中に小さな花をつけるため、外からは確認できない。果実の中にある赤いつぶつぶが花。</p>			

19	イポメア		
	学名	Ipomoea	
	科名	ヒルガオ科	
	属名	サツマイモ属	
	原産地	メキシコ南部～中央アメリカ	
	日照	向を好む。直射日光は避け	
	耐寒性	10℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	春植え球根	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>草丈10～100cm、葉を楽しむパタタス(サツマイモ)の改良品種。アサガオの葉に似た形の黄緑や斑入り葉を持ち、花もアサガオに形が似ている。地中にはサツマイモ同様、イモがある。</p>			
20	インパチェンス		
	学名	Impatiens walleriana	
	科名	ツリフネソウ科	
	属名	インパチェンス属(ツリフネソウ属)	
	原産地	熱帯アフリカ	
	日照	半日陰を好む。	
	耐寒性	5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	緑多年草(春まき一年草扱)	
	呼称パターン		
①属名			
特徴等			
<p>草丈15～40cm、ゆるい鋸歯のある小さめで濃緑色の葉を持つ。花は、一重、八重があり、花色は、白、赤、ピンク、オレンジがある。日向を好むが、日陰でも育つ。</p>			
21	インパチェンス(ニューギニア系)		
	学名	Impatiens New Guinea Group	
	科名	ツリフネソウ科	
	属名	インパチェンス属(ツリフネソウ属)	
	原産地	ニューギニア	
	日照	半日陰を好む。	
	耐寒性	10℃以上	
	灌水量	たっぷり	
	性状	常緑多年草(春まき一年草扱い)	
	呼称パターン		
②属名+種小名			
特徴等			
<p>草丈20～50cm、ニューギニアの高冷地に自生する原種をもとに育成された園芸品種。インパチェンスと比べて、株、葉、花ともに大きく、生育おう盛。葉は、さらに深緑で黒っぽく鋭い。</p>			

22	エキザカム		
	学名	Exacum affine	
	科名	リンドウ科	
	属名	エキザカム属(ベニヒメリンドウ属)	
	原産地	ソコトラ島(エキザカム属は熱帯アジア、熱帯ア	
	日照	半日陰を好む。	
	耐寒性	0℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑多年草あるいは一年草	
		呼称パターン	
	⑥和名		
	特徴等		
<p>草丈20～50cm、光沢のある小さな照葉を密集させ、よく枝分かれした茎の先に紫や白の小花を咲かせる。葉はツヤのある卵型で、やや硬質。花は整った5弁の花びらもち、中央の黄色い花芯がよく目立つ。</p>			
23	エキナセア		
	学名	Echinacea	
	科名	キク科	
	属名	エキナセア属(ムラサキバレンギク属)	
	原産地	北アメリカ	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	0℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑多年草(宿根草)	
		呼称パターン	
	①属名		
	特徴等		
<p>草丈30～100cm、花は、中心部がクリのイガのように球状に大きく盛り上がり、そのまわりに細長い花弁が放射状に広がる。花色は、赤、ピンク、オレンジ、黄、白、緑色。プルプレアという品種がよく出回る。ハーブの一種で、お茶に使われるなど、薬効がある。</p>			
24	エニシダ		
	学名	Cytisus scoparius	
	科名	マメ科	
	属名	エニシダ属	
	原産地	シバ、北アフリカ、カナリア諸島、	
	日照	日向を好む。直射日光は避ける	
	耐寒性	-5℃以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	落葉～半常緑低木	
		呼称パターン	
	⑥和名		
	特徴等		
<p>樹高1～5m、鮮やかな黄色の花を咲かせる。乾燥地が原産で、乾燥防止のため葉は小さく、その分緑色の枝でも光合成が行われる。木はほうき立ちになるため、場所を取らない。耐寒性は強いが、寒い地方では落葉する。高温多湿に弱いため、日本の気候で育てるのは難しい。</p>			

25	エボルブス(アメリカンブルー)		
	学名	Evolvulus pilosus	
	科名	ヒルガオ科	
	属名	エボルブス属(アサガオガラクサ属)	
	原産地	アメリカから南アメリカの熱帯から亜	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	5°C以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑多年草・一年草扱い	
		呼称パターン	
	①属名		
	特徴等		
草丈20~40cm、葉は小さめで、細かい毛の生えた灰濃緑色。株は横に広がるように伸びる。青い小さな花がさき、日差しに反応して開花するため、十分に日光を浴びないと開花しない。			
26	オリーブ		
	学名	Olea europaea	
	科名	モクセイ科	
	属名	オリーブ属	
	原産地	小アジア~近東、地中海	
	日照	日向を好む。直射日光OK	
	耐寒性	-5°C以上	
	灌水量	乾いたらたっぷり	
	性状	常緑高木	
		呼称パターン	
	⑥和名		
	特徴等		
樹高1.5~15m、葉は表が深緑色、裏が灰白色で、やや細長い楕円~へら形をしている。初夏に咲くクリーム色の花は目立たない。実は最初緑色で赤から黒に変化する。自家結実性が弱く、多品種を2本以上植えないと実が付きにくい。過湿に弱いため、水はけに配慮が必要。			
27	オリヅルラン		
	学名	Chlorophytum	
	科名	キジカクシ科	
	属名	クロロフィツム属(オリヅルラン属)	
	原産地	アフリカとインドを中心とした熱帯	
	日照	半日陰を好む。	
	耐寒性	0°C以上	
	灌水量	少なめ	
	性状	常緑多年草	
		呼称パターン	
	⑥和名		
	特徴等		
草丈5~30cm、細長い葉を弓状に伸ばし、ほふく枝に子株をつける。これが折り鶴に見えるため、オリヅルランという名前がついている。春~夏にかけてランナーの節から小さな白い花を咲かせる。主に吊り鉢にして観葉植物として楽しむ。			

28	オレガノ			
	学名	Origanum		
	科名	シソ科		
	属名	オリガヌム属(ハナハッカ属)		
	原産地	ヨーロッパ、地中海沿岸の高冷地		
	日照	日向を好む。直射日光は避ける		
	耐寒性	耐寒性あり		
	灌水量	乾いたらたっぷり		
	性状	常緑多年草		
	呼称パターン			
	①属名			
特徴等				
<p>草丈10～40cm、薬用や食用のハーブとして有名なワイルドマジョラムやスイートマジョラムの他、観賞用として花や葉の美しいセントビューティーなどがある。ホップのような花を咲かせ、緑～ピンク色の花びらのように見えるのは苞で、その内側に小さなピンク色の花があり、香りがある。室内であれば、寒冷地でも常緑で冬越しする。</p>				
29	オンシジウム			
	学名	Oncidium		
	科名	ラン科		
	属名	オンシジウム属		
	原産地	中央～南アメリカ		
	日照	向を好む。直射日光は避け		
	耐寒性	10℃以上		
	灌水量	乾いたらたっぷり		
	性状	常緑多年草		
	呼称パターン			
	①属名			
特徴等				
<p>草丈15～30cm、小花をたくさん咲かせ、小型で香りのよいものから、大型でボリュームがあるものまで、さまざまなタイプがある。花色は、黄色が代表的だが、白、茶色、オレンジ、ピンクなどもある。本来は木に着生して育つ着生ランで乾燥に弱いため、乾き始めたらたっぷり与え、カラカラに乾燥させない。長くと1カ月間花を楽しめる。香りがよい。</p>				
30	カーネーション			
	学名	Dianthus caryophyllus		
	科名	ナデシコ科		
	属名	ダイアンサス属(ナデシコ属)		
	原産地	南ヨーロッパ、西アジア		
	日照	向を好む。直射日光は避け		
	耐寒性	0℃以上		
	灌水量	乾いたらたっぷり		
	性状	常緑多年草、一年草扱い		
	呼称パターン			
	⑤英名			
特徴等				
<p>草丈10～30cm、元となる種は地中海沿岸に自生するが、現在広く親しまれているのは多くの近縁種を掛け合わせて作られた交配種。葉はナデシコ科とすぐわかる細長い緑葉で、やや灰白色がかって見える。花は八重咲きが普通で、千重咲きぽいものなどがあり、色は、赤、ピンク、白、黄、黄緑、複色</p>				

